

今月のクイズ

平成25年2月に一般社団法人日本自動車タイヤ協会が行った、ゴールデンウィークのドライブについての意識調査で、ドライブ前に「どのような車のメンテナンスを行うか」(3つ選択)の質問に、「タイヤの空気圧点検」と回答したドライバーが57.3%と一番多く、次いで「洗車」が52.0%でした。では3番目に回答が多い「車内清掃」はどのくらい割合を占めているのか次の中から選んでください。

① 50.9% ② 43.9% ③ 36.9% (答えは裏面)

車内をきれいにしよう

まず、車内を見渡してみましょう。フロントガラスの内側もこまめに拭いていますか？ゴミ箱が満杯のままになっていませんか？荷物を座席に乗せた状態で走行していませんか？今月は、車内の状態がどのように運転に影響するのかを通し、こまめな整理整頓や清掃の必要性をみてみましょう。

車の清掃や車内の状態がドライバーの視界や運転操作に影響する

車の点検・整備というと、タイヤやエンジンルームを思い浮かべますが、車をきれいに保つことも安全走行に必要な点検・整備に入ります。

公益財団法人交通事故総合分析センターによると、車の調整が悪かったために起きた事故のうち、車の清掃や車内の調整が悪かったことが、ドライバーの視界や操作に影響を及ぼして起きた事故が全体の65%を占めています(右図)。その内訳をみると「ワイパーを作動させなかった、フロントガラスを拭かなかった等のため相手の発見が遅れた」が35%と最も多く、「車内の荷物が視界、操作に影響」が続きます。日頃から車を清掃し、車内の整理整頓を行い、車のライトの調整や灯火、ワイパーの作動や積荷の調整を適切に行っていれば起こることが防げた事故です。

では、車内の荷物が運転操作に影響を与えないためには、どのようにすればよいのでしょうか。

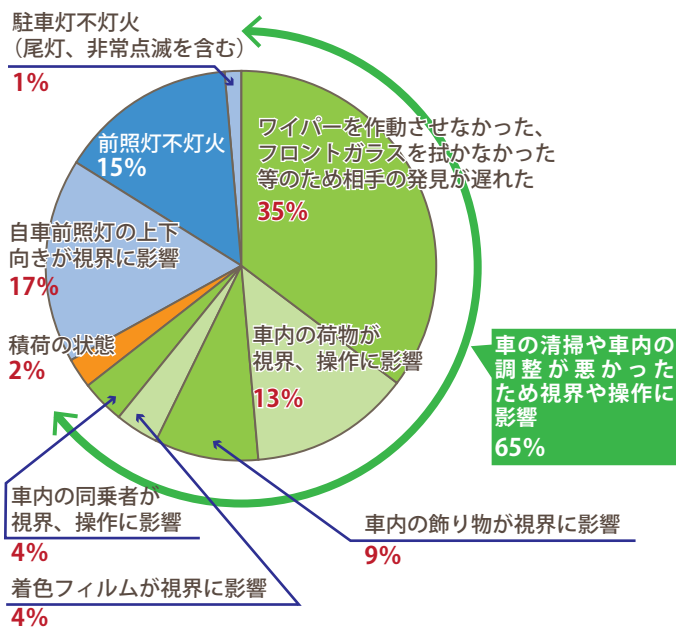


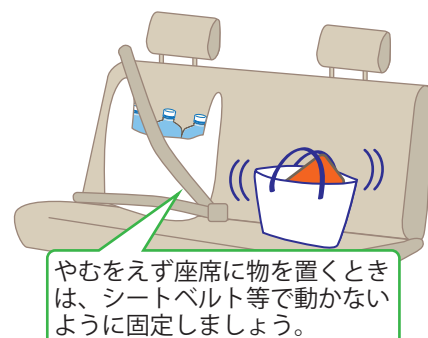
図:車の調整が悪かったために起きた事故(普通自動車・軽自動車) 平成23年

(出典:公益財団法人交通事故総合分析センター「交通事故データからみた自動車の点検整備に関する調査分析報告書(平成24年度)」)

走行中に動く可能性がある物は固定しましょう

買い物袋やバッグを座席に置いたまま走行していませんか。走行中に荷物が崩れると、ドライバーの視線が運転から荷物に向いてしまうことがあります(脇見運転)、事故を誘発する危険性が潜んでいます。荷物は、なるべくトランクに入れましょう。

また、運転席のフロアマットが固定されていないと、走行中にマットが奥にあるペダル側にずれてしまい、アクセルを踏み込んだときに、マットにペダルが引っ掛かり、ペダルが戻らなくなる危険性があります。車内で動く可能性のある物は、安全のために固定してから走行しましょう。



□ 日頃から車内を整理整頓し、清潔に保ちましょう □

車内の状態が運転に影響しないために、日頃から車内を整理整頓し、清潔に保つことが必要です。車内の状態を次のような観点でチェックしてみましょう。

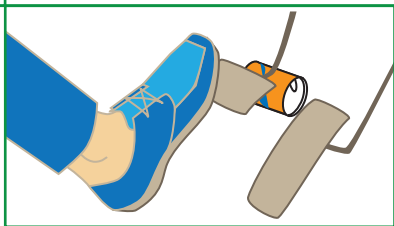
□ すべての窓ガラスが常にきれいな状態になっていますか



フロントガラスが曇っていたり汚れがあると、脇から出てくる車等に気がつかず、接触する危険性があります。

運転に必要な視界を確保するため、すべての窓ガラスをきれいな状態に保ちましょう。特に小さな子どもやペット等を乗せている場合や、車内で喫煙する場合は、窓ガラスが汚れやすくなるので注意しましょう。

□ ゴミを何日も置いたままにしませんか



ゴミ箱が満杯になっていたり、ゴミ袋を何日も放置していると、ゴミが散乱し、運転席の足元に入る可能性があります。ゴミがブレーキペダルやアクセルペダルに挟まると、ペダル操作に影響が出る可能性があります。非常に危険です。

車内はこまめに清掃し、ゴミが落ちていないか点検しましょう。また、ゴミを車内に放置せず、家に持ち帰る習慣をつけましょう。

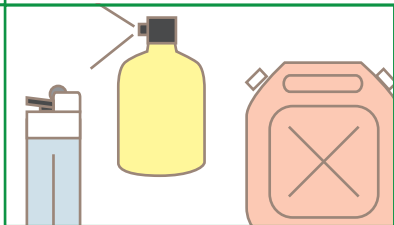
□ 動きやすい物を放置していませんか



ダッシュボードやコンソールボックスの上にサングラス等の軽くて動きやすいものを置いていると、走行中にその動きが気になり、運転から視線がそれて事故を誘発する危険性があります。

物が車内で動かないように、使用しない物はダッシュボードやコンソールボックス、トランク等の中に入れてみましょう。車内に備え付けるゴミ箱等はしっかりと固定しましょう。

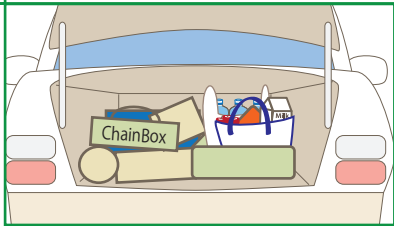
□ 危険物を積んだままにしませんか



ライターやスプレー缶、未開封の炭酸飲料等は、日光が当たったり車内が高温になったりすると、破裂や爆発、発火する危険性があります。また、ガソリンや灯油を入れた容器を車に積んだままにしておくと、自然発火する危険性があります。

「破裂・爆発・発火のおそれがある」と注意書きされている物は、車内に放置しないようにしましょう。

□ 車内やトランクに、不要な物を積んでいませんか



車に積んでいる荷物が多いと、重量が増えてハンドルが回しづらくなります。アクセルやブレーキの踏み込みも重くなって運転操作に支障をきたし、事故を起こす危険性があります。

車内やトランクの中に、不要なものは積まないようにしましょう。

車内を整理整頓し、清潔に保って安全運転を心がけましょう。

今月のクイズの答え

② 43.9% (出典:一般社団法人日本自動車タイヤ協会 平成25年4月「ゴールデンウィークのドライブについての意識調査」より)

ご用命・ご相談は...

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です。

保険システム株式会社
INSURANCE SYSTEM CO., LTD

〒950-0088
新潟市中央区万代4-4-27 NBF新潟テレコムビル10階
TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921
E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp
URL http://www.hokensystem.co.jp



東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内 1-2-1

TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590

URL <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

担当営業課